

保険薬局におけるオンライン手法を用いた新入社員研修の実施報告

平島八恵子 総合メディカル（株）人財育成部

【目的】本年、新型コロナウイルス対策として、急遽、新入社員研修を受講者在宅でのオンラインで実施することとなった。新入社員研修の実施経験、並びに、オンライン学習の活用経験から、本研修を実施するにあたって様々な課題を想定した。受講者のインフラ環境による影響、個人学習によるモチベーション維持の難しさなどである。また、新入社員研修は社会人・薬剤師としての知識・スキルの習得だけでなく新入社員同士の関係構築も目的である。これらの目的や課題を踏まえ、研修を企画・実施したのでその概要を報告する。

【方法】2020年4月1日から13日間、受講者240名に対し、パソコン・スマートフォンで受講可能なオンライン学習プラットフォームUMU®を用いて研修を実施。研修スケジュールとして、1週目に社会人基本項目（社長講話・社内規程・マナーなど）2週目以降は薬剤師専門項目を実施。1日のスケジュールは9時から生放送による朝礼、10時～15時はeラーニングによる自己学習、15時から会議システムによるクラス活動とした。マナー教育は外部教材を利用したが、その他の教材作成、研修運営は社内スタッフが行った。

【結果】全受講者がパソコン・スマートフォンなど、受講に必要な機器を有しており、9割以上は自宅にWi-Fi設備があった。自己学習は、すべての受講者が全項目を期限内に完了し、最終確認テストは、8割が合格点に達していた。

朝礼ならびにクラス活動時、受講開始が遅れた者は数名いたが、その理由の多くは通信状況の不調であった。朝礼時、受講者のフォローボタン（いいね！）は最も多い日で10500回発信された。クラス単位での討議・会話をきっかけに、受講者は自主的にクラスSNSグループを作成し、コミュニケーションをとっていた。

【考察】受講者は最後まで興味を持って研修に取り組むとともに、受講者間の関係構築の基礎を築くことができた。これは自己学習だけでなく、生放送など受講者が参加できる手法を用いたことで興味・緊張感を持続できたこと、会議システムでお互いの顔が見える環境を提供できたことなどが要因と考えられる。また、知識習得においては、通信状況の回復を待って受講が可能なeラーニングを主としたため、通信不調においても影響が少なかったことが、自己学習の完遂につながったと推測する。

【キーワード】

保険薬局、オンライン、新入社員研修